

多摩区



■人口 222,794 人

■世帯数 115,626 世帯

■面積 20.39 km²

(令和 4 (2022) 年 3 月 1 日現在)

多摩区の木



「ハナズキ」



「ナシ」

多摩区の花



「モモ」



「スミレ」

1 多摩区の概要

- かつての稲田村、生田村そして向丘村（むかおかむら）の一部からなる現在の多摩区は、昭和 47（1972）年に本市が政令指定都市に移行した際に誕生し、市民の公募で区名が決定されました。昭和 57（1982）年の行政区再編では区の西部が「麻生区」として区分し、現在の区域に至っています。
- 多摩区は本市の西北端に位置し、多摩川によってできた沖積平野と多摩丘陵の丘陵地で形成され、都市部には貴重な「水と緑」に囲まれています。
- 首都圏を代表する緑豊かな生田緑地には、世界的にも著名な芸術家・岡本太郎の作品を収蔵した「岡本太郎美術館」や、東日本の代表的な古民家などを集めた「日本民家園」、世界最高水準の星空を映す「かわさき^{そら}宙と緑の科学館」、そして世界的に人気のあるまんが「ドラえもん」などの原画が鑑賞できる「藤子・F・不二雄ミュージアム」と、個性豊かな文化・教育施設が点在し、市内有数の観光名所となっています。
- 昭和 30 年代に都市化が急速に進んだ菅や中野島の住宅地でも、かつて「多摩川梨」の栽培が盛んだった農村地帯としての景観も随所に見られます。
- また、市内を南北につなぐ JR 南武線が登戸駅で小田急小田原線と、稲田堤駅では京王相模原線と交差し、都心への交通の便が良いこともあり、区民の就業者の約半数が、都内に通勤しています。
- さらに、3 つの大学（専修大学、明治大学、日本女子大学）とゆかりがあることも区の大きな特徴です。

多摩区的主要地域資源・魅力など



岡本太郎美術館

かわさき^{そら}宙と緑の科学館

2 まちづくりの方向性

「水と緑と学びのまち ～うるおい豊かな住みたいまちへ～」

- 多摩川や二ヶ領用水などの「水辺」、多摩川崖線軸の斜面緑地や生田緑地などの「緑」、そして区にゆかりのある大学などの知的資源を活かした「学び」など、多摩区は魅力あふれる地域資源の豊かなまちです。
- これまで培ってきた多くの魅力や価値を引き継ぎ、高めながら、区民一人ひとりがうるおいやあたたかい地域のつながりを身近に感じ、これからも住みたいと実感できる、すこやかに安心して暮らせるまちづくりを進めます。

3 これまでの主な取組状況

● 地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりの推進

生田緑地をはじめとする自然や文化施設といった豊富な地域資源を活用しながら、多様な主体との協働により区の魅力を内外に積極的に発信し、まちへの愛着や満足度の向上を図るとともに、訪れる人も住む人も楽しむことができる魅力あるまちづくりを推進しています。

● 災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進

地域防災活動の中心的な役割を担う自主防災組織、避難所運営会議への支援や区民の防災意識の醸成を進めるとともに、地域特性に応じた訓練の実施や隣接自治体との連携強化等により、地域防災力の向上に取り組んでいます。また、地域や警察、消防といった関係機関との連携により、犯罪発生を抑止や交通事故防止に向けた取組を推進し、安全で安心できるまちづくりをめざした取組を推進しています。

● たまっ子を区民みんなで育てるまちづくりの推進

子ども・子育て支援団体や関係機関と連携しながら、子ども・子育てに関する課題やニーズを把握し、地域全体で支援の取組を推進するとともに、子育て中の家庭を見守る環境づくりや人材育成を推進しています。また、子育ての悩みや不安を解消し、地域で安心して子育てができるよう、子ども・子育てに関する情報や相談窓口の情報を多様な方法で効果的に発信しています。

● すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりの推進

地域包括ケアシステムの構築に向けて、多様な主体の連携を促進し、住民主体による地域での見守り活動や交流活動など連携・協働しながら、地域特性に応じた多世代で支え合う地域づくりを進めています。また、区民主体の健康づくり・介護予防を推進し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりに取り組んでいます。

● 市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりの推進

区にゆかりのある3大学の知的資源を活かして地域課題の解決を図るとともに、大学生の地域参加を促進し、大学の持つ価値や魅力を活かした地域づくりを進めています。また、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組として、ソーシャルデザインセンターへの運営支援を行うなど、地域で活躍する多様な主体が、市民創発によって地域の課題を解決していくための取組を推進しています。



多摩区ソーシャルデザインセンター

4 現状と課題

●多摩川、生田緑地などの自然環境、歴史や未来を感じる文化施設をはじめ、個性豊かな地域資源が輝きます。

- 多摩川や二ヶ領用水などの水辺環境にも恵まれ、首都圏でも有数の自然環境を残す生田緑地を有するなど豊かな自然があふれ、令和3（2021）年に開館50周年を迎えた「かわさき^{そら}と緑の科学館」や、「藤子・F・不二雄ミュージアム」など個性豊かな地域資源が数多く存在しています。令和4（2022）年度には、生田浄水場用地において新たなスポーツ拠点施設「フロントタウン生田」などの供用開始が予定されています。



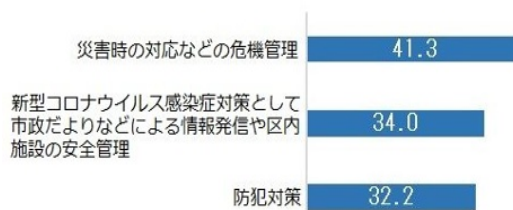
生田緑地東口ビジターセンター

- これらの地域資源を活かした魅力あるまちづくりに向けて、令和3（2021）年に策定された「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区まちづくりビジョン」とも連携した取組を進めるとともに、区の魅力を積極的に内外に発信し、多摩区に住みたい、住み続けたいと思えるように、地域への愛着や誇りを高める取組を進め、令和4（2022）年4月に迎える区制50周年を契機として、地域の更なる活性化につなげる必要があります。

●安全で安心して暮らせるまちづくりへの区民の意識が高くなっています。

- 北部には多摩川、五反田川などの河川が流れ、南部には171の土砂災害警戒区域が指定（令和3（2021）年5月現在）されており、自然災害が発生しやすい地域特性を持っています。稲城市や狛江市などの隣接自治体と、日頃から災害時に備えた連携を進めていく必要があります。

区役所が力を入れて取り組むべき施策



資料：令和2（2020）年度 区民意識アンケート

- 交通事故件数は減少傾向であるものの、自転車事故の割合が高く「自転車事故多発地域」に指定されていることから、自転車利用者の交通ルールやマナーについて一層の啓発に取り組む必要があります。
- 令和2（2020）年度区民意識アンケートでは、区役所が力を入れて取り組むべき施策として「災害時の対応などの危機管理」が最も高くなっており、安全・安心に対する区民意識が高いことがうかがえます。

●子育て家庭の不安を解消し、安心や希望を持って子育てできる環境づくりが求められています。

- 令和2（2020）年度市子ども・若者調査によると、多摩区の0～6歳の子どもがいる保護者の48.4%が「孤立感を感じた」と答えた一方で、子育て支援情報については、21.0%の人が「特に得ていない」と答えています。
- 子育てへの悩みや孤立感を募らせる家庭の不安等を解消するため、支援を必要とする保護者へ家庭状況に応じた情報を提供するとともに、子育て支援団体や関係機関などが緊密に連携し、子育て家庭を地域全体で支え、安心や希望をもって子育てできる環境づくりを一層推進していくことが求められています。



子育て支援団体や関係機関による連携会議

● 区内の単独世帯の割合は 50%を超え、高齢化率は 30%を超える地域があります。

- 区全体の高齢化率は 20.0%（令和 3（2021）年 12 月末現在）ですが、既に 30%を超える地域も点在しています。
- 単独世帯の割合が半数を超える 50.2%（令和 2（2020）年国勢調査）となっているほか、令和 2（2020）年度区民意識アンケートでは、困ったときに近所に手助けを頼める人がいないと答えた人が 51.1%という結果になっており、多世代で支え合う地域づくりが課題となっています。

町丁別高齢化率（上位 5 町丁）

1	多摩区 菅北浦 4 丁目	34.3%
2	多摩区 菅仙谷 3 丁目	33.1%
3	多摩区 寺尾台 2 丁目	32.6%
4	多摩区 三田 3 丁目	31.3%
5	多摩区 東三田 2 丁目	30.7%
多摩区 全体		20.0%

令和 3（2021）年 12 月末現在
資料：市町丁別年齢別人口

● 大学の知的資源の活用や、区民が主体となったまちづくりを一層推進していく必要があります。

- 区にゆかりのある大学と連携し、大学の専門性や知的資源を活かした地域課題解決のための取組や大学生の地域参加促進事業などを進めています。令和 2（2020）年度区民意識アンケートでは、「知っている 3 大学関連の取組・イベントはない」と答えた人は 61.8%という結果になっており、今後、大学の知的資源を活用したまちづくりをさらに推進していくためには、大学と地域の交流を一層促進していく必要があります。



地域イベントへの大学生参加の様子

- 区民が主体となったまちづくりを一層推進していくため、住民自治組織として重要な役割を担う町内会・自治会を取り巻く課題への対応が求められています。また、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組を進め、地域で活躍する多様な主体の連携による課題解決を一層促進していく必要があります。

● 登戸土地区画整理事業の進展により、これまでの賑わいを引き継ぎ、地域全体の活性化につなげていくことが期待されています。

- 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区では、商業・業務の中心地区としてふさわしいまちをめざして、登戸土地区画整理事業が進められています。これまでの進捗率は、令和 4（2022）年 1 月 1 日現在で、仮換地指定率が約 94.8%、宅地使用開始率が約 79.2%となっています。
- 土地区画整理事業の進展により、これまでの賑わいを引き継ぎ、将来にわたって地域全体の活性化につなげていくことが期待されています。



区画整理事業が進む登戸駅付近
令和 3（2021）年 6 月

5 計画期間の主な取組

地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりの推進



主な取組の方向性

- 生田緑地をはじめとする豊かな資源の活用や、多様な主体との協働による魅力発信を通じた、訪れる人も住む人も楽しむことができるまちづくりの推進
- 令和4（2022）年度供用開始予定の「フロントタウン生田」との連携による、スポーツを行う機会の提供等を通じた地域住民の交流、地域の活性化の推進

事業名	事業内容・目標				
	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度	令和6（2024）年度	令和7（2025）年度
観光振興・タウンプロモーション推進事業 自然や文化施設といった豊富な地域資源を活用し、多様な主体との協働により、区の魅力を内外に積極的に発信し、区への関心を深めて、誘客及び地域の活性化につなげます。  地域観光の活性化に向けた PR	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な地域主体と協働・連携した地域資源の魅力発信 ○ 観光ガイドブック・ガイドマップの作成 更新・発行回数：1回 ○ ホームページによる情報発信 ・ 随時情報更新 ○ 地域（多摩区観光協会）が主体となった地域周遊イベントの実施 開催回数：1回 ○ 区民によるガイドツアーの実施（新規ルート作成含む） 開催回数：0回 ○ 地域観光の活性化に向けた支援 ・ 地域行事・イベントの広報支援 ○ 「ピクニックタウン多摩区」をキーワードとしたまちの賑わいとタウンイメージの向上を図る取組の推進 ○ 地域資源を活用した「ピクニックタウン・多摩区」のPR・イメージ醸成につながるイベントの開催 開催回数：1回 ○ 区の地域資源を活用した、新聞、WEBメディア、テレビ等のメディアへのアプローチ ・ 年間を通じたPR ○ インフルエンサーの活用を含めた各種SNSによる多摩区の魅力情報の発信 ・ 年間を通じた情報発信 ● 地域が主体となった都市間交流の実施 ・ 多摩区観光協会を通じた交流都市との交流 	<ul style="list-style-type: none"> 更新・発行回数：1回 継続実施 開催回数：1回 開催回数：8回 開催回数：8回 継続実施 開催回数：1回 継続実施 継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 更新・発行回数：1回 開催回数：1回 開催回数：8回 開催回数：8回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 	<ul style="list-style-type: none"> 更新・発行回数：1回 開催回数：1回 開催回数：8回 開催回数：8回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 	
登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区賑わい継承事業 土地区画整理事業の推進により変貌するまちの賑わいを引き継ぎ、さらに発展させることで、魅力あるまちづくりに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 賑わいと魅力創出に向けた取組の推進 ○ ARを活用したまちの回遊性向上・活性化の取組「たまく de AR!」等の推進 ・ コンテンツ等の更新、アクセス数の分析等 ○ コンテンツ等の更新、アクセス数の分析等による効果や手法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 	<ul style="list-style-type: none"> 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 	<ul style="list-style-type: none"> 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 	

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
スポーツを活用したまちづくり推進事業 令和4(2022)年度に予定されている「フロントタウン生田」などの供用開始を踏まえ、事業者や地域と連携したスポーツの活用等により、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる機会を提供し、地域住民の交流、地域の活性化を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもからシニアまで気軽にスポーツを楽しむ機会を提供する「多摩区スポーツフェスタ」の開催 開催回数：1回 ●多摩区制50周年記念事業を契機としたスポーツを活用したまちづくり、健康づくりの推進 ○「フロントタウン生田」などの供用開始に関連付けた記念シンポジウムの検討・実施 ●「フロントタウン生田」や地域と連携したスポーツ事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○「フロントタウン生田」と連携した開催の検討 ○「フロントタウン生田」などの供用開始に関連付けた記念シンポジウムの検討・実施 ○「フロントタウン生田」や地域と連携したスポーツ事業の実施 			
		<ul style="list-style-type: none"> ●多摩区制50周年記念事業を契機としたスポーツを活用したまちづくり、健康づくりの推進 ○「フロントタウン生田」などの供用開始に関連付けた記念シンポジウムの検討・実施 ●「フロントタウン生田」や地域と連携したスポーツ事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○「フロントタウン生田」などの供用開始に関連付けた記念シンポジウムの実施 ○「フロントタウン生田」や地域と連携したスポーツ事業の実施 		
		<ul style="list-style-type: none"> ●「フロントタウン生田」や地域と連携したスポーツ事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○「フロントタウン生田」や地域と連携したスポーツ事業の実施 		
		<ul style="list-style-type: none"> ●「フロントタウン生田」や地域と連携したスポーツ事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○「フロントタウン生田」や地域と連携したスポーツ事業の実施 		

災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進



主な取組の方向性

- 地域特性に応じた実践的な訓練や隣接自治体との連携強化等による地域防災力の向上
- 関係機関との地域連携による犯罪発生の抑止や、交通ルール・マナーの定着による交通事故防止に向けた取組の推進

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
市民防災活動支援事業 地域防災活動の中心的な役割を担う自主防災組織や避難所運営会議への支援を行うとともに、区民の防災意識の醸成を進めることで地域の防災力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災組織、避難所運営会議が主催する各種会議・訓練への支援 ●地域人材の防災力向上に向けた支援 ●防災を「自分事」として捉える防災意識の醸成 ●区民や関係機関との連携による地域特性に応じた「多摩区総合防災訓練」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種会議・訓練の支援 ○災害発生時に備えた防災リーダー育成研修の実施 ○地域団体、関係機関と連携した防災フェアの開催 ○各種事業と連携した防災キャンペーンの実施 			
		<ul style="list-style-type: none"> ○各種会議・訓練への支援 ○災害発生時に備えた防災リーダー育成研修の実施 ○地域団体、関係機関と連携した防災フェアの開催 ○各種事業と連携した防災キャンペーンの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種会議・訓練への支援 ○災害発生時に備えた防災リーダー育成研修の実施 ○地域団体、関係機関と連携した防災フェアの開催 ○各種事業と連携した防災キャンペーンの実施 		
		<ul style="list-style-type: none"> ○各種会議・訓練への支援 ○災害発生時に備えた防災リーダー育成研修の実施 ○地域団体、関係機関と連携した防災フェアの開催 ○各種事業と連携した防災キャンペーンの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種会議・訓練への支援 ○災害発生時に備えた防災リーダー育成研修の実施 ○地域団体、関係機関と連携した防災フェアの開催 ○各種事業と連携した防災キャンペーンの実施 		
		<ul style="list-style-type: none"> ○各種会議・訓練への支援 ○災害発生時に備えた防災リーダー育成研修の実施 ○地域団体、関係機関と連携した防災フェアの開催 ○各種事業と連携した防災キャンペーンの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種会議・訓練への支援 ○災害発生時に備えた防災リーダー育成研修の実施 ○地域団体、関係機関と連携した防災フェアの開催 ○各種事業と連携した防災キャンペーンの実施 		



多摩区総合防災訓練での仮設トイレ組立の様子

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
多摩区安全・安心まちづくり推進事業 地域、警察、消防と連携し、防犯、交通事故防止等に取り組み、安全で安心できる地域づくりを推進します。	●安全・安心な地域づくりに向けた啓発と支援の実施 ○防犯・交通安全等をテーマにしたセミナーの開催 実施回数：1回 実施回数：1回 実施回数：1回 実施回数：1回 実施回数：1回 ○地域防犯活動団体が実施する防犯パトロールへの支援の実施 ・活動物品の貸与 継続実施				
	●交通安全意識の定着に向けた啓発の実施 ○幼稚園、保育園、小学校を中心とした交通安全教室の実施 実施回数：72回 実施回数：80回 実施回数：80回 実施回数：80回 実施回数：80回 ○区内危険箇所への啓発看板等の設置 ・取組の推進 継続実施				

たまっ子を区民みんなで育てるまちづくりの推進

主な取組の方向性

●多様な主体の連携による地域が一体となった子ども・子育て支援や、多様な方法での効果的な情報発信による地域で安心して子育てができる環境づくりの推進

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
多摩区子ども総合支援推進事業 子ども・子育て支援団体や関係機関と連携し、地域全体で子ども・子育て支援の取組を推進するとともに、人材育成や子ども・子育て家庭を見守る環境づくりを推進します。	●地域全体での子ども・子育て支援の取組の推進 ○多摩区子ども総合支援連携会議を通じた情報共有・意見交換の実施 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回 開催回数：1回				
	●子育てについて理解を深めるための情報提供や人材育成の推進 ○子ども・子育て支援への理解を深めるための講演会、学習会の開催 開催回数：2回 開催回数：2回 開催回数：2回 開催回数：2回 開催回数：2回 ○子育て支援者養成講座の実施 連続講座開催回数：1回 連続講座開催回数：1回 連続講座開催回数：1回 連続講座開催回数：1回 連続講座開催回数：1回				
 住民主体の外遊びイベント	●地域での子育て世代への見守りや交流の促進 ○住民主体の外遊びイベントを通じた多世代交流の促進 開催回数：3回 開催回数：3回 開催回数：3回 開催回数：3回 開催回数：3回 ○多摩区子育て支援パスポート事業の実施 ・パスポート発行、パンフレット作成 継続実施				
	●子育て家庭のニーズに応じた情報発信 ○地域の子ども・子育て情報冊子「多摩区地域子育て情報BOOK」の作成、ホームページ等の活用による情報発信 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 ・ホームページ等での情報発信 継続実施				
多摩区子ども・子育て情報収集・発信事業 子育ての悩みや不安を解消し、地域で安心して子育てできるように、子ども・子育てに関する情報や相談窓口の情報を多様な方法で提供します。	○子ども・子育てに関する相談窓口案内リーフレットの作成 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回				
	○地域における保育所等の子育て支援応援冊子「たまっ子ノート」の作成 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回 更新・発行回数：1回				

すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりの推進



主な取組の方向性

- 地域での見守りや交流活動、健康づくりなど、住民主体の取組と連携・協働した、多世代で支え合い、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりの推進

事業名	事業内容・目標				
	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度
多摩区地域包括ケアシステム推進事業 地域特性に応じた地域づくりの推進を目的に、多様な主体と連携・協働した取組や、啓発活動に取り組みます。  支え合いの地域づくりに係るフォーラム	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域特性に応じた健康づくり、支え合いの地域づくり <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の課題を共有し、住民が主体的に解決していくための地域づくりの支援 ・地域づくりに向けた取組の推進 ・地域活動団体の交流機会の提供 ● 地域包括ケアシステムの理解促進に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域包括ケアシステムの理解促進に向けた広報の実施 ・広報誌の発行 ○ 小学生に対する認知症サポーター養成講座及び中学生に対する認知症講演会の開催 開催回数：12回 (R1：19回) ● 住み慣れた地域で暮らし続けるための医療と介護の連携促進 <ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養推進協議会と連携した取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決に向けた取組等を通じた地域づくりの推進 継続実施 ・広報誌の発行及び次年度に向けた事業の検証 ・在宅療養推進協議会と連携した公開講座等の取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・検証を踏まえた広報の実施 ・検証を踏まえた広報の実施 ・検証を踏まえた広報の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報の実施及び次年度に向けた事業の検証 ・検証を踏まえた広報の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・検証を踏まえた広報の実施
パサーージュ・たま開催事業 多摩区総合庁舎アトリウムで、障害者の団体や作業所等の活動紹介、作品展示などを行い、障害のある方など社会的マイノリティへの理解を深め「心のバリアフリー」を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害のある方など社会的マイノリティへの理解を深めることによる「心のバリアフリー」の促進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 区内の障害者の団体、生活・就労支援を行っている障害者施設等の活動紹介や作品展示などを行う「パサーージュ・たま」の開催 開催回数：10回 (H30：11回) ○ 「心のバリアフリー」の推進に向けた広報の実施 ・広報誌の発行及び広報手法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・「心のバリアフリー」の推進に向けた広報の実施 ・広報誌、動画を活用した広報の実施 			

市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりの推進



主な取組の方向性

- 「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組など、多様な主体が連携した市民創発による地域課題の解決に向けた取組の推進
- 町内会・自治会との連携や、区にゆかりのある3大学と地域との連携促進などを通じた活力ある地域づくりの推進

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
<p>多摩区・3大学連携事業</p> <p>大学と地域の交流・連携を図るとともに、地域のさまざまな課題の解決に向けて、大学の知的資源を活用した取組を実施します。</p>  <p>大学生と地域の交流 (多摩区3大学コンサート)</p>	<p>●大学との連携による地域課題解決に向けた「大学・地域連携事業」の実施 ・連携事業の実施</p> <p>●大学と地域の連携を促進する「たまなびプログラム」による地域づくりの推進 ・大学生の地域参加に向けたプログラムの実施 ・地域に向けた大学情報の発信 ・大学が実施する公開講座等による交流促進</p> <p>●区にゆかりのある3大学の学生を中心とした「多摩区3大学コンサート」の開催 開催回数：1回</p> <p>●大学連携による生田緑地エントランススポットのフィールドワークと広報での活用 ・施設のフィールドワーク、広報での活用</p>	<p>継続実施</p> <p>・効果的な地域参加プログラムの検討・実施 ・多様な手法による大学情報の発信 ・公開講座等による交流促進</p> <p>開催回数：1回</p> <p>継続実施</p>	<p>開催回数：1回</p> <p>開催回数：1回</p>	<p>開催回数：1回</p>	<p>開催回数：1回</p>
<p>地域コミュニティの活性化促進事業</p> <p>町内会・自治会の抱える課題を共有し、その実情に応じた支援を進めることにより、町内会・自治会活動、さらには地域コミュニティの活性化を図ります。</p>	<p>●町内会・自治会への加入に向けた啓発活動など支援の実施 ・加入促進のための啓発活動の実施 ・チラシやリーフレットの発行</p> <p>●地域住民を対象とした地域活性化に向けた講演会等の開催 ・講演会等の開催</p> <p>●コミュニティの活性化に向けた各種補助制度や活動事例等の情報発信 ・発信内容の検討</p>	<p>継続実施</p> <p>・子育て世帯等に向けた広報物の検討・作成</p> <p>継続実施</p>	<p>・効果的な広報物の検討・作成</p>		
<p>多摩区コミュニティ施策区域レベル取組推進事業</p> <p>「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組として、多摩区におけるソーシャルデザインセンターへの運営支援等を行い、市民創発による地域の課題解決に向けた取組を進めます。</p>	<p>●多摩区におけるソーシャルデザインセンターへの立上げ支援の実施 ・協定に基づく支援の実施</p> <p>●評価・検証を踏まえた多摩区における区域レベルの取組の推進 ・評価・検証手法等の検討</p>	<p>・協定に基づく支援の実施</p> <p>・区域レベルの取組に対する評価・検証の実施及びソーシャルデザインセンターへの支援など今後の区域レベルの取組のあり方の検討</p>	<p>・ソーシャルデザインセンターへの支援など区域レベルの取組の推進</p>		<p>・区域レベルの取組に対する評価・検証の実施及びソーシャルデザインセンターへの支援など今後の区域レベルの取組のあり方の検討</p>

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

政策体系別計画

区計画

進行管理・評価

地域の課題解決に向けたその他の取組

取組の柱 区名	事業名	概要	事業内容・目標				
			現状 令和3（2021） 年度	令和4（2022） 年度	令和5（2023） 年度	令和6（2024） 年度	令和7（2025） 年度
多摩区							
地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりの推進							
	音楽による区の魅力発信・地域交流創出事業	区民が身近に音楽に触れる機会や地域の音楽家に演奏を披露する場を提供し、音楽を通じて、まちの賑わいや地域交流の活性化を推進します。	●区民との協働による「たま音楽祭」の開催 ●多摩区総合庁舎での「たまアトリウムコンサート」の開催 ●生田緑地等の自然環境や文化施設を活用したコンサートの開催				
	多摩区エコロジーライブ事業	区民が家庭で取り組める地球温暖化対策を、区民との協働により推進します。	●庁舎壁面の緑化、ゴーヤの種子の配布など「緑のカーテン大作戦」の実施 ●子どもたちの環境学習を目的とした「夏休み！多摩区エコフェスタ」の開催 ●市民団体と協働した使用済みてんぷら油の回収などによる3Rの普及啓発の実施				
	水辺の愛護活動事業	町内会・自治会等による二ヶ領用水の清掃・愛護活動を支援し、緑豊かな水辺空間づくりと、区民の環境愛護活動を推進します。	●区民による二ヶ領用水の清掃・愛護活動に対する支援・協力				
	多摩川環境啓発展示事業	多摩川に生息する淡水魚等を多摩区総合庁舎1階アトリウムで飼育展示し、多摩区への愛着を含め、環境意識の啓発を図ります。	●季節に応じた魚類の展示及びパネルの掲出 ●水槽の維持管理				
	多摩まちかど祭開催事業	区民祭の会場でステージイベントを開催し、区民が日頃の文化芸術活動の成果を発表できる機会を提供するとともに、区民相互の交流と地域活性化を図ります。	●区民祭会場におけるステージイベントの企画・実施				
	区民祭開催経費	区民一人ひとりが担い手となることで、心温かい地域コミュニティを作り、暮らしやすい快適なまちづくりを推進することを目的に区民祭を開催します。	●区内の地域団体等と連携した多摩区民祭の運営				
	区制50周年記念事業	令和4（2022）年度を迎える区制50周年を、地域と行政が一体となりお祝いする機運を醸成するとともに、長く区民に親しまれるレガシーの形成に取り組みます。	●記念誌等の作成 ●魅力ある地域資源を活用したまちづくりの推進に向けた記念シンポジウム及び関連事業の実施				
災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進							
	多摩区危機管理事業	多摩区防災連絡会議を通じて関係機関との連携を強化するとともに、隣接自治体と連携した訓練の実施により、区全体の総合的な危機管理機能の向上を図ります。	●多摩区役所防災力向上方針に基づく取組の推進 ●洪水・土砂災害・雪害対策の実施 ●区防災対策の充実・強化を目的とした、関係機関による多摩区防災会議・部会の開催 ●災害発生時に備えた隣接自治体と連携した訓練等の実施				
	自転車利用マナーアップ促進事業	多摩区は自転車事故の割合が高い地域のため、自転車交通安全標語を活用した啓発の実施等により自転車運転マナーやルールの定着を図ります。	●小学生から募集した自転車交通安全標語を活用した啓発の実施 ●区内中学校、高等学校を中心とした、スクエアストレート方式の交通安全教室の実施				
	多摩区動物愛護推進事業	学校・地域・家庭へ動物愛護思想を浸透させ、動物の飼養上のさまざまな問題を解決へつなげることにより、人と動物の調和のとれた共生社会の実現を図ります。	●区内小学校低学年向けに、生命の大切さを伝える体験型「いのちの授業」の実施 ●「どうぶつ愛護フェアinたま区」の開催 ●動物愛護・適正飼養の更なる周知・啓発に向けた情報発信				

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

取組の柱 区名	事業名	概要	事業内容・目標				
			令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
たまご子を区民みんなで育てるまちづくりの推進							
	たまたま子育てまつり開催事業	支援団体等との協働により、参加しやすい子育てまつりになるよう変化を加えながら、親子で学び、遊べる場の提供や相談、情報提供などを行う子育てまつりを開催します。	●たまたま子育てまつりの開催				
	子ども・子育て支援推進事業	支援団体や関係団体と連携し、地域全体で子ども・子育ての取組を推進するとともに、人材育成や子ども・子育てで家庭を見守る環境づくりを推進します。	●民生委員・児童委員、公民保育所が連携した地域子育て支援事業「ママとあそぼうババもね！」の実施 ●在宅子育て家庭への情報提供や公立保育所等を利用した専門職による支援の実施				
	地域子育て力向上事業	子育て中の親子が気軽に集まり交流する中で子どもとの関わり方を体験しながら育児の力をつけていく環境づくりを推進します。	●子育て世代の交流促進と育児力向上に向けた取組の推進 ●保育士・ボランティア配置による各種健診・相談サポート体制の充実				
すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりの推進							
	精神保健普及啓発事業	精神保健福祉のネットワーク化や関係機関との課題の共有を図り、地域住民の心の健康づくりに対する意識を高めるため、メンタルヘルスの普及啓発に向けた講演会等を実施します。	●メンタルヘルスに関する講演会の開催 ●チラシ等を使った広報及び普及啓発の実施				
市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりの推進							
	多摩区区民意識アンケート実施事業	地域の課題解決や魅力を活かした取組を効果的に推進していくため、多摩区役所が推進する主な取組に関する意識などを調査し、結果を分析します。	●多摩区区民意識アンケートの実施（隔年実施）				
	市民活動支援事業	「多摩区民活動・交流センター」を区民との協働により運営し、市民活動団体等の自主的な活動の発展、交流、相互支援を促進します。	●登録団体で構成される運営委員会との協働による運営 ●全体会などを通じた登録団体相互の情報交換の実施				
	多摩区公園案内事業	公園が地域コミュニティの場となり、地域の活性化が促進されるとともに、利用者の利便性が向上するように、公園の案内冊子を作成します。	●多摩区内の公園情報を掲載した「多摩区公園BOOK」の作成				
区役所サービス向上事業							
	窓口サービス改善推進事業	分かりやすい案内表示や窓口対応等を実行し、区役所利用者の利便性と満足度の向上を図ります。	●来庁者アンケート・外部評価実施に基づく改善策の検討・実施 ●窓口対応時のスキルアップのための職員研修の実施 ●ワーキンググループによる課題解決策の検討・実施				
地域課題対応その他事業							
	共通事務経費	地域課題対応事業において共通で必要となる物品を一括購入し、事務の効率化を図ります。	●一般事務用品、備品類の調達				
区の新たな課題即応事業							
	区の新たな課題即応事業	新たに生じた課題に、適切かつ迅速に対応し、解決に向けた取組を推進します。	●新たに発生する課題に対応する事業の実施				



多摩区における特徴あるまちづくりの取組

多摩区で展開されている市民生活を支える事業のうち、区計画に記載されている事業（地域課題対応事業）以外の事業に関連した、区の特徴的な取組を紹介します。

●登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区まちづくり推進事業

登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区では、安全で快適な暮らしを支える都市基盤整備等のため、昭和 63（1988）年から登戸土地区画整理事業に取り組んできました。今後も、令和 7（2025）年度の移転・基盤整備の完了をめざし事業を推進するとともに、令和 3（2021）年 7 月に策定した「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区まちづくりビジョン」に基づき、多様な主体と連携し、交通結節機能や自然環境、文化施設等のまちのポテンシャルと民間活力を活かした魅力的な拠点形成に向けた取組を進め、更なるまちの魅力や賑わい創出に取り組んでいきます。

【政策体系別計画 P 402：施策 4-5-2 登戸土地区画整理事業】

【政策体系別計画 P 402：施策 4-5-2 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区まちづくり推進事業】

【多摩区役所における関連した取組】

- 登戸土地区画整理事業の進展によって街なみが変わりつつあり、これまでのようにまちが賑わい、活性化するための取組として「たまく de AR！」を行っています。登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区や生田緑地等のアクセスルートに AR スポットを設置し、スマートフォンのカメラで QR コードを読み込むことで、それぞれのスポットにちなんだ個性豊かなキャラクターと一緒に写真が撮れるなど、楽しみながら、まちや施設を巡ることができます。
- また、「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区まちづくりビジョン」とも連携し、地域の人と人とのつながり、まちへの愛着を持ち、まちの魅力を多くの人が共有できるような取組を進めています。



スマホを片手にまち歩きを楽しめます。

●「フロントOWN生田」などの供用開始に向けた取組

生田浄水場用地の一部について、更新用地として利用するまでの間、有効利用を図るための取組を推進しています。当該用地を有効利用する事業者として選定された株式会社川崎フロンターレと、令和元（2019）年度に事業の実施に関する基本的な事項を定めた協定を締結し、令和 4（2022）年度中に市民へスポーツ及び交流の機会を提供する施設としてフロントOWN生田、ふれあい広場及び多目的広場の供用開始を予定しています。



フロントOWN生田の整備イメージ

【資料編 P 661：施策 1-3-1 水道・工業用水道事業における経営基盤の充実・強化事業】

【多摩区役所における関連した取組】

- 「フロントOWN生田」等を区の重要なスポーツ資源として捉え、地域や事業者などとの効果的な連携により、スポーツを活用した地域の一層の活性化を進めます。
- 令和 4（2022）年 4 月に迎える区制 50 周年を記念する事業の一環として、「フロントOWN生田」等の開設に関連付けたシンポジウムを実施するなど、供用開始に向けた機運を盛り上げながら、効果的に地域の活性化や多様な主体のつながりづくりにつなげていきます。



地域と連携し開催している「多摩区スポーツフェスタ」



“それいいね”が広がるまちづくりに向けて

多摩区で展開されている事業のうち、地域課題の解決に向けて、市民や団体等と協働・連携して行っている特徴的な取組を紹介します。

● 訪れる人も住む人も楽しめる！「ピクニックタウン多摩区」

多摩区の自然や文化施設、歴史といった豊富な地域資源を活用し、区の魅力をその内外に積極的に発信することにより、区への関心を深めてもらい、誘客及び地域の活性化につなげています。

豊富な地域資源を活用した地域周遊の取組

- 多摩区の自然豊かなスポットや、グルメスポットなどをゲーム感覚で巡る『SHIGENARI-多きを解き明かし摩天楼へ-』を実施しました。区内のさまざまなスポットに設置した QR コードを活用した周遊型謎解きゲームで、コロナ禍でも人や物と接触せずに楽しめるイベントとして、過去 2 年で延べ約 3,000 人の方々に参加いただきました。実施にあたり、明治大学クイズサークルのほか、区内の多くの施設・店舗にも協力いただき、地域一体となった、多摩区の活性化、魅力向上をめざしています。
- 多摩区観光協会が主催する、区の主要な観光資源である生田緑地と多摩川を活用した地域周遊イベント「ピクニックラリー」を支援しています。区内の飲食店等が出店し、コロナ禍での地域の活性化を図るとともに、各店舗等の PR や集客増につなげています。



まち歩き謎解きゲーム SHIGENARI2

ピクニックコンサート

- 「音楽のまち・かわさき」を推進するため、多摩区の象徴である生田緑地の豊かな自然の中でコンサートを開催しています。ピクニックを楽しみながら音楽を楽しむよう出店ブースを設置したり、地域イベントと同時開催するなど、多くの方に楽しんでいただいています。令和 3（2021）年度はかわさき^{そら}宙と緑の科学館開館 50 周年記念として実施し、令和 4（2022）年度は区制 50 周年記念として実施予定です。



生田緑地でのピクニックコンサート

みんなで発信！多摩区の魅力

- 区民主体の観光ボランティアガイドによるツアーを年間を通じて開催しています。四季折々に表情の違う自然や、歴史、文化に触れることができるさまざまなツアーを用意し、多くの方に楽しんでいただいています。
- 多摩区の魅力をメディア、SNS 等さまざまな媒体を通じて発信しています。特に、SNS に注力し、SNS インフルエンサーを活用した PR や、参加型 SNS キャンペーンなど、若い世代への PR を積極的に行っています。



SNS を活用した参加型キャンペーン

★市民の想い、メッセージ

- この企画によって知らなかった公園やお店に出会えるのでとても良かったです。街の人とお話したりもできて地域の人との交流があったりとても良かったです。また次回の企画を楽しみにしています！（SHIGENARI2 アンケート）
- このまち歩きゲームを通じて、色々な場所を知れてとても良かったです。クイズも面白くて家族で楽しめました。（SHIGENARI2 アンケート）
- 初めて見学できた場所も多く、この機会に見学出来て充実していました。ボランティアの方の説明や対応がとてもよかったです。（ガイドツアーアンケート）



多摩区マップ

多摩区

①⑦ 生田浄水場用地の有効利用に係る整備

①⑧ 三沢川地区の浸水対策

凡例	
施設整備等	●
道路整備	■
その他	●



⑫ JR 稲田堤駅の橋上駅舎化

⑧ 北部児童相談所の増築

⑬ 生田住宅新棟 1 の整備

⑭ 生田住宅新棟 2 の整備

① 介護老人保健施設 (樹形地区)

⑥ 横浜生田【東三田工区】

①⑥ 一級河川平瀬川支川の改修

② 特別養護老人ホーム
長沢壮寿の里 (建替え)

①⑨ 上河原堰堤の更新

①⑪ コミュニティ交通に係る実験
(生田山の手地区)

③ 中野島住宅福祉施設用地
障害福祉サービス事業所

⑦ 保育・子育て総合支援センターの整備

④ スターチャイルド「登戸ナーサリー」(保育園)

⑮ 五反田川放水路の整備

⑤ 世田谷町田線【登戸工区】

⑫ JR 稲田堤駅の橋上駅舎化

生田出張所

生田

読売ランド前

多摩区役所

多摩区役所

国鉄田舎

和泉多摩川

香河原

香河原

香河原

香河原

香河原

香河原

香河原

香河原

香河原

香河原

香河原

⑩ 登戸・向ヶ丘遊園駅
周辺地区のまちづくり

⑨ 登戸土地区画整理事業

区のマップとの対応表

福祉施設

名称	開所予定	定員	MAP 番号
介護老人保健施設（樹形地区）	R5(2023)年度	150人	①
特別養護老人ホーム長沢壮寿の里（建替え）	R6(2024)年度	132人 短期入所8人	②
中野島住宅福祉施設用地障害福祉サービス事業所	R6(2024)年度	生活介護・ 就労継続支援 B型 40～50人程度	③
スターチャイルド「登戸ナーサリー」〈（保育園）〉	R4(2022)年度	60人	④

道路・公園

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
世田谷町田線【登戸工区】	橋りょう整備	事業推進	⑤
横浜生田【東三田工区】	道路拡幅	事業推進	⑥

その他

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
保育・子育て総合支援センターの整備	保育・子育て支援拠点の整備	R6(2024) 年度運営開始	⑦

北部児童相談所の増築	施設狭あい解消のための整備	R5(2023) 年度供用開始	⑧
登戸土地区画整理事業	魅力と活力にあふれた市北部の拠点地区の形成を推進するための土地区画整理	R7(2025) 年度 移転・ 基盤整備 完了	⑨
登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区のまちづくり	自然環境、文化施設等のまちなかでのポテンシャルと民間活力を活かした魅力的な拠点形成に向けた取組の推進	事業推進	⑩
コミュニティ交通に係る実験（生田山の手地区）	本格運行の実施に向けた取組の推進	R4(2022) 年度実施	⑪
JR 稲田堤駅の橋上駅舎化	駅へのアクセス向上を図るための自由通路及び橋上駅舎の整備	R5(2023) 年度完成	⑫
生田住宅新棟 1 の整備	市営住宅の建替工事	R5(2023) 年度完成	⑬
生田住宅新棟 2 の整備	市営住宅の建替工事	R8(2026) 年度完成予定	⑭
五反田川放水路の整備	五反田川の洪水全量を地下トンネルで直接、多摩川へ放流する施設の築造工事	R5(2023) 年度運用開始	⑮
一級河川平瀬川支川の改修	治水安全度向上のための河川の改修	事業推進	⑯
生田浄水場用地の有効利用に係る整備	地域の住民等が利用できるふれあい広場、多目的広場、フロンタウン生田の供用開始に向けた取組の推進	R4(2022) 年度供用開始	⑰
三沢川地区の浸水対策	下水道施設の整備	事業推進	⑱
上河原堰堤の更新	堰堤の機械・電気施設の更新	R9(2027) 年度完成予定	⑲

多摩区

地域の課題解決に向けた取組の一覧	事業名（○は本計画に掲載している主な事業や取組）
地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりの推進	
	○ 観光振興・タウンプロモーション推進事業
	○ 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区賑わい継承事業
	○ スポーツを活用したまちづくり推進事業
	音楽による区の魅力発信・地域交流創出事業
	多摩区エコロジーライフ事業
	水辺の愛護活動事業
	多摩川環境啓発展示事業
	多摩まちかど祭開催事業
	区民祭開催経費
	区制50周年記念事業
災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進	
	○ 市民防災活動支援事業
	○ 多摩区安全・安心まちづくり推進事業
	多摩区危機管理事業
	自転車利用マナーアップ促進事業
	多摩区動物愛護推進事業
たまっ子を区民みんなで育てるまちづくりの推進	
	○ 多摩区こども総合支援推進事業
	○ 多摩区こども・子育て情報収集・発信事業
	たまたま子育てまつり開催事業
	子ども・子育て支援推進事業
	地域子育て力向上事業
すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりの推進	
	○ 多摩区地域包括ケアシステム推進事業
	○ パサージュ・たま開催事業
	精神保健普及啓発事業
市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりの推進	
	○ 多摩区・3大学連携事業
	○ 地域コミュニティの活性化促進事業
	○ 多摩区コミュニティ施策区域レベル取組推進事業
	多摩区区民意識アンケート実施事業
	市民活動支援事業
	多摩区公園案内事業
区役所サービス向上事業	
	窓口サービス改善推進事業
地域課題対応その他事業	
	共通事務経費
区の新たな課題即応事業	
	区の新たな課題即応事業

麻生区



■人口 180,645 人

■世帯数 80,303 世帯

■面積 23.11 km²

(令和 4 (2022) 年 3 月 1 日現在)

麻生区の木



「禅寺丸柿」

麻生区の花



「ヤマグリ」

1 麻生区の概要

- 麻生区は昭和 57 (1982) 年に、多摩区から分区して誕生しました。「麻生」の名は、8 世紀頃、この地が朝廷への貢物だった麻布の原料である麻を産したことによると伝えられています。
- 昭和 2 (1927) 年に小田急線の柿生駅が開設され、その後、昭和 49 (1974) 年に新百合ヶ丘駅が誕生、さらに小田急多摩線が開通しました。新百合ヶ丘駅周辺地区には行政機関、大型商業施設、病院などの都市機能が集積し、市北部における広域拠点として機能強化が図られてきました。
- 平成 24 (2012) 年に区制 30 周年を迎え、区の花「ヤマグリ」、区の木「禅寺丸柿」を制定しました。また、10 月 21 日を「禅寺丸柿の日」と制定し、禅寺丸柿キャラクター「かきまるくん」による普及活動など、麻生区固有の魅力と価値を後世に伝承する活動が進められています。
- 麻生区は、里地・里山など緑のうらおいにあふれ、一人あたりの公園緑地面積は約 10 m²と、7 区で最も高くなっています。区内には、「黒川」・「岡上」・「早野」の農業振興地域、農産物直売所「セレスモス」があり、平成 24 (2012) 年には「明治大学黒川農場」が開場するなど、農業資源に恵まれています。
- 麻生区では、芸術・文化のまちづくりが進められ、大学や施設が集積し、年間を通じて、市民の手によるさまざまな芸術・文化のイベント等が開催されています。また、芸術・文化や子育て、農などさまざまな分野で、区内の 6 大学（昭和音楽大学、玉川大学、田園調布学園大学、日本映画大学、明治大学、和光大学）や企業との連携も進んでいます。



2 まちづくりの方向性

豊かな自然と芸術が溶け合う活力のあるまち

- 麻生区は、新百合ヶ丘駅周辺をはじめ区内に芸術・文化が輝き、黒川・岡上・早野などに広がる豊かな自然や農のある風景、景観の整った美しい街なみが調和し、安全・安心で魅力にあふれ、心の安らぎが感じられるまちです。
- 区民がまちに愛着と誇りを持ち、こうした貴重な地域の資源を大切に育むとともに、地域や大学などのさまざまな主体が手を取り合い、支え合うことで、未来に広がる、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めます。

3 これまでの主な取組状況

● 芸術・文化のまちづくりの推進

豊かな芸術・文化資源を活かし、多彩な主体と協働・連携して、誰もが芸術・文化に親しめる環境づくりを進めています。

また、麻生区の地域に根ざした特有の伝統・伝承文化や観光資源について、地域の文化団体や観光関係団体等と連携し継承するとともに、さまざまな媒体を活用しその魅力を広く発信しています。

● 農と環境を活かしたまちづくりの推進

農業資源や環境資源への理解を深め、その魅力を伝えるために大学や農業事業者、区民等との協働による地域資源を活用した取組を推進しています。

また、市民活動団体等との協働により、地球温暖化対策や自然エネルギーの活用などの環境問題に関する普及啓発の取組や、区内に残る里地・里山の魅力を伝えるための保全に関するイベント、人材育成交流事業等を実施し、環境資源の保全に向けた取組を推進しています。

● 高齢化への対応とすこやか・支え合いのまちづくりの推進

高齢化が進展する中で、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、麻生区らしい地域包括ケアシステムを構築し、互いに支え合える地域づくりを推進しています。

また、区民と地域団体、関係機関、行政のそれぞれが地域福祉の目的や課題を共有し連携を図ることによって、区民ひとりではできない、行政だけではできない自助・互助のしくみづくりを進めています。

● 安全・安心まちづくりの推進

区民一人ひとりの防災意識の向上や自主防災組織の活動の活性化を通じた地域の自助・共助体制の強化を図るなど、災害に強いまちづくりを推進しています。

また、区民が安全・安心に暮らすことができるように、交通安全の啓発事業や、地域の防犯組織と連携した取組を行っています。

● 総合的な子ども・子育て支援の推進

多様化・複雑化する子育て支援ニーズに対応するため、関係機関や団体等との連携を強化するとともに、大学や民間企業等の地域資源を活用した子ども・子育て支援の取組を進めています。

● 地域資源を活用したコミュニティづくりの推進

多様な主体の連携により、「市民創発」によるコミュニティづくりに向けた取組を進めるとともに、地域コミュニティの核である町内会・自治会に対し、加入促進等の地域活性化に向けた取組を推進しています。

また、地域資源を活かしたスポーツのまち麻生の推進を通じて、豊かなコミュニティづくりを進めています。

4 現状と課題

● 芸術・文化が輝き、豊かな自然に恵まれています。

- 麻生区内には、「昭和音楽大学」、「日本映画大学」、「川崎市アートセンター」など芸術・文化関連施設等が集まり、「アルテリッカしんゆり」、「麻生音楽祭」、「あさお芸術のまちコンサート」など、さまざまな芸術・文化イベントが開催されてきました。さらに、多くの区民が芸術・文化を身近に感じ、楽しみ、参加できる魅力あふれるまちを創るため、市民団体、事業者、教育機関、市民、行政等多彩な主体が交流を深め、一層の連携のもと、豊かな芸術・文化資源を活かした取組を進める必要があります。
- 麻生区は、黒川・岡上・早野地区の農業振興地域をはじめ、市内の農地、山林の 43%が区内に集積するなど豊かな自然に恵まれており、令和 2（2020）年度のかわさき市民アンケートでは区民の 81.3%が「公園や緑の豊かさ」について満足していると回答しています。こうした地域の農業資源、環境資源を活かして、地域の魅力やブランド力をさらに高める必要があります。また、SDGs の目標達成のため、環境問題の対応に加え、多様な主体と連携した取組を進める必要があります。



麻生音楽祭



収穫体験（明治大学黒川農場）

● 人口減少・高齢化に対応するため、支え合いの地域づくりを進める必要があります。

- 麻生区の人口は、令和 12（2030）年頃をピークに約 18.7 万人まで増加を続けますが、その後減少に転ずることが予測されています。現在の区内の高齢化率は 23.6%（令和 3（2021）年 12 月末現在）と既に市内トップになっており、町丁別に見ると 50%を超える地区もあります。今後、更なる高齢化の進展によるケアを必要とする高齢者の増加や地域活動の担い手不足などに対応するため、地域における自助・互助の意識づくりやしくみづくりの推進が求められています。



地域包括ケアシステム講演会

● 安全・安心なまちづくりをめざした取組を進める必要があります。

- 麻生区内の土砂災害警戒区域は 305 区域（令和 3（2021）年 5 月現在）と 7 区で最も多く、また、首都直下地震のみならず風水害の激甚化・頻発化が想定されることから、被害を最小限に食い止めるために、自助・共助体制の強化による、災害に強いまちをつくる必要があります。
- 交通安全に関する取組について、麻生区の交通事故発生件数は他区と比較少ない状況ですが、令和 2（2020）年は子ども関係事故発生件数が 7 区で最も多くなっていることから、効果的かつ実践的な交通安全の啓発を行うなど、交通事故をなくすための取組を進める必要があります。また特殊詐欺についても発生件数は少ないものの、被害額が大きいことから幅広い年齢層を対象とした注意喚起を行っていく必要があります。



自主防災組織による訓練の様子

● 少子化・核家族化など子育て環境の変化に伴い、子ども・子育て支援の充実が求められています。

- 麻生区の年少人口は今後緩やかな減少傾向に転じると予測されている中、万福寺やはるひ野など、近年の住宅開発により年少人口の割合が高い地区もあり、子ども・子育て支援については依然として高いニーズがあります。核家族化や地域のつながりの希薄化などを背景に、育児への不安や負担感を抱きやすい家庭も増えていることから、子育て支援情報の発信、気軽に子育ての相談や交流ができる場づくり、地域活動の支援など、子育て家庭を地域全体で支え、安心して子育てできる環境づくりが求められています。



子育てサークルの活動支援

● 地域では知識や経験を持った区民によるさまざまな活動が行われています。

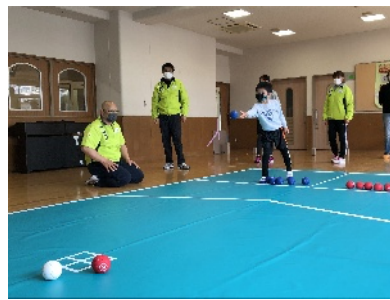
- 市民主体で運営する市民活動支援の拠点である「麻生市民交流館やまゆり」では、シニアなどが培ってきた知識や経験を活かした市民活動が行われています。これからは、暮らしを取り巻く環境の変化がもたらすさまざまな課題に対応するため、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、多様な主体と連携して市民創発によるまちづくりを進める必要があります。また、町内会・自治会は、地域住民をつなげ、福祉や防災など身近な暮らしの課題の解決に大きな役割を担っていますが、加入率の低下や担い手不足、役員交代により継続した取組が困難になるなどといった課題への対応も必要となっています。
- そのほか、総合型地域スポーツクラブの更なる活動支援や区内の各種スポーツ大会支援を通じ、スポーツを通じた地域の活性化、豊かなコミュニティづくりを進める必要があります。また、「障害などの有無にかかわらず誰もがスポーツ・運動に親しんでいるまち」をめざして、誰もがスポーツに参加できる環境づくりに取り組む必要があります。



目指せ！アクティブシニア講座



総合型地域スポーツクラブでの体操教室



ボッチャ体験

5 計画期間の主な取組

芸術・文化のまちづくりの推進



主な取組の方向性

- 多彩な主体と協働・連携した誰もが芸術・文化を身近に感じる「芸術・文化のまち麻生」をめざす取組の推進
- 地域の文化団体や観光関係団体等と連携した麻生区特有の伝統・伝承文化や観光資源を活用した魅力の発信

事業名	事業内容・目標				
	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度
しんゆり・芸術のまち推進事業 新百合ヶ丘駅周辺や黒川エリアなど、区内に集積する芸術関連団体等と連携し、情報発信やネットワークづくり、イベント支援等誰もが芸術・文化を身近に感じる魅力あるまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 芸術・文化等の情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページやSNS等による情報発信の継続的な実施 ・ 情報発信の実施及び見直し ● 芸術・文化団体の情報交換・交流の場づくり、区民の芸術文化を通じたつながりづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 区内で活動する芸術・文化団体等が参加する「あさお芸術・文化交流カフェ」の開催 ・ あさお芸術・文化交流カフェの開催 ○ 区の芸術・文化活動を知り、体験できる催しとして「カフェ・グランデ あさお」の開催 ・ 区制40周年に向けた企画の実施 ○ 芸術・文化分野におけるネットワークを活かしたプラットフォーム創出 ・ 取組の検討及び試行実施 ● 新百合ヶ丘駅周辺の更なる魅力向上に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多彩な主体が実施するイベント等への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的な情報発信の実施 ・ 区制40周年記念事業と連携した企画の実施 ・ 区制40周年記念事業と連携したコンサートの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施手法の検討 ・ 開催方法の見直し・検討 ・ 試行の検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討を踏まえた開催 ・ 検討を踏まえた開催 ・ 検証結果を踏まえたプラットフォームの運営 	
麻生音楽祭開催事業 区を中心に音楽活動を行う団体や学校が、日頃の活動の成果を披露する機会を参加する市民が主体となって創出することで、相互交流や芸術文化の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の音楽団体や学校との協働による麻生音楽祭の開催 ・ 「コーラスのつどい」、「スクールコンサート」等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区制40周年記念事業と連携したコンサートの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「コーラスのつどい」、「スクールコンサート」等の開催 		



麻生音楽祭スクールコンサート

事業名	現状		事業内容・目標		
	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度	令和6（2024）年度	令和7（2025）年度
あさお芸術のまちコンサート事業 区にゆかりのある音楽家や芸術文化関係団体が主体的に連携を図り、区内各地でのコンサート等の開催を通じて地域や人のつながりをつくれます。	●あさお芸術のまちコンサートの開催 ○多様な団体等との連携による、世代、ジャンル、障害の有無を超えて誰もが音楽を楽しむコンサート等の開催 ・「秋空のハーモニー」、「ユニヴァーサル」等の開催	・区制40周年記念事業と連携したコンサートの開催及びコンサート開催方法の見直し・検討	・検討結果を踏まえた開催		
あさお観光資源の魅力紹介事業 観光ガイドブックの発行、観光写真コンクール及び禅寺丸柿のPRなどにより、区の魅力を発信し、区のイメージアップや地域の活性化を促進します。	●区の観光資源の魅力発信 ・観光ガイドブックの発行 ・観光写真コンクールの開催	・観光写真コンクールの開催	・観光ガイドブックの発行	・観光写真コンクールの開催	・観光ガイドブックの発行
	●「禅寺丸柿の日」イベントの開催 ○麻生観光協会との協働による柿もぎ体験等のイベント開催 ・柿もぎ体験等イベント開催	継続実施			



あさお芸術のまちコンサート



柿もぎ体験

農と環境を活かしたまちづくりの推進



主な取組の方向性

- 大学や農業事業者、区民等との協働による麻生区の貴重な農業資源や環境資源を活用した地域活性化に向けた取組の更なる推進
- 持続可能な開発目標（SDGs）の考え方を踏まえ、多様な主体と連携し、地球環境の保全に関する普及啓発をはじめとした持続可能なまちづくりへの取組の推進

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
農と環境を活かした連携事業 大学や農業事業者、区民等と連携し、区内の農業資源や環境資源を活かした地域活性化に向けた取組を推進します。	●黒川地区における実施計画等に基づく取組の推進 ○黒川地区協議会・専門部会活動の持続化に向けた取組の推進 ・実施計画の見直し ・黒川地区協議会の開催 ・収穫体験イベント等の開催	・実施計画の見直しに基づく取組の推進 継続実施 継続実施			
	●岡上地区、早野地区における地域活性化に向けた取組の推進 ○岡上地区での地域資源調査結果等に基づく取組の推進 ・関係者と連携し、検討 ○早野地区の農業資源や地域資源を活用した各局、関係者との連携による取組の推進 ・各局との連携による取組の検討	・地域イベント等の企画検討 ・検討を踏まえた取組の実施	・地域イベント等の企画・実施		
麻生区SDGs推進事業 麻生区のローカルプラットフォームの創設に向けた取組を推進し、持続可能なまちづくりをめざすとともに、自然エネルギーの活用など地球温暖化防止等に関する普及啓発を推進します。	●SDGs推進に向けた取組の実施 ・SDGsに関する関係者との取組の検討 ●地球環境保全に関する普及啓発の推進 ○市民活動団体等による各種イベント等の開催 ・夏休み環境教室等の各種イベント等の開催、事業実施体制の見直し	・団体や企業等と連携した麻生区全体でのプラットフォーム創出に向けた検討、講演会、交流会の開催	・ローカルプラットフォーム創設、取組の実施 ・プラットフォームによる取組の実施		
麻生里地・里山保全推進事業 麻生区の貴重な資源である里地・里山の魅力を、保全・活用の担い手として期待される若い世代に対して発信し、普及啓発を推進します。	●里地・里山保全に関するイベント、人材育成交流事業等の開催 ○里地・里山の自然や文化等を継承し、未来へつなぐ里地・里山カフェ塾や里山フォーラムの開催 ・里地里山カフェ塾、里山フォーラムの開催 ○ボランティアの育成、確保等を目的とした人材育成交流事業の実施 ・あさお里山こどもクラブの実施 ●里地・里山の魅力の発信 ○里地、里山への関心を高め、変わりゆく自然、風景の保存を目的とした風景写真展の開催、風景写真展記録集の発行 ・写真展開催、写真記録集の発行	継続実施 継続実施			



収穫体験



地球環境保全に関する出前授業



里山フォーラム

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

高齢化への対応とすこやか・支え合いのまちづくりの推進



主な取組の方向性

- 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる麻生区らしい地域包括ケアシステムの推進
- 住民主体の地域づくりに向けた情報発信の推進
- 多様な主体との連携による支え合いの地域づくりに向けた取組の推進

事業名	事業内容・目標				
	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度
<p>地域包括ケアシステム推進事業</p> <p>地域包括ケアシステムの推進に不可欠な、人材の発掘・育成をし、区民が主体的に関わる地域づくりを進めます。また、新しい生活様式を踏まえた、自助・互助の意識の醸成を図るための普及啓発や情報発信を実施します。</p>  <p>地域包括ケアシステム講演会</p>	<p>● 住民主体の地域づくりに向けた取組の推進</p> <p>○ちいきのちからシートを活用した住民主体の地域づくりに向けた取組の支援</p> <p>・ちいきのちからシート の活用</p> <p>○関係機関、団体に対するヒアリングの実施、結果等を反映した地区カルテの充実</p> <p>・町会・自治会ヒア リングの実施</p> <p>● 健康づくり・介護予防の推進</p> <p>○新たなボランティアの養成</p> <p>・ボランティア養成講 座の開催</p> <p>○健康づくり・介護予防活動の普及啓発</p> <p>・講演会の開催、 健康体操CDの配 布</p> <p>○健康づくり・介護予防ボランティアグループへの支援</p> <p>・ボランティアグル ープへの支援</p> <p>● 自助・互助の意識の醸成を図るための普及啓発・情報発信</p> <p>○地域包括ケアシステムや保健福祉に関する講演会、講座の開催等</p> <p>・地域包括ケアシ ステム講演会の開 催</p> <p>・感染症関連公開 講座の開催</p> <p>・地域づくりの好事例 等の紹介</p>	<p>○ちいきのちからシートを活用した取組支援</p> <p>・ちいきのちからシート を活用した取組支援</p> <p>○関係機関・団体に対するヒアリングの実施、結果等を反映した地区カルテの充実</p> <p>・ヒアリング結果等を 反映した地区カルテ の充実</p> <p>○新たなボランティアの養成</p> <p>・ボランティア養成講 座の開催</p> <p>○健康づくり・介護予防活動の普及啓発</p> <p>・地域に向けた普及 啓発活動の充実</p> <p>○健康づくり・介護予防ボランティアグループへの支援</p> <p>・ボランティアグル ープへの支援</p> <p>● 自助・互助の意識の醸成を図るための普及啓発・情報発信</p> <p>○地域包括ケアシステムや保健福祉に関する講演会、講座の開催等</p> <p>・地域包括ケアシ ステム講演会の開 催</p> <p>・感染症関連公開 講座の開催</p> <p>・地域づくりの好事例 等の紹介</p>	<p>○ちいきのちからシートを活用した取組の支援</p> <p>○関係機関・団体に対するヒアリングの実施、結果等を反映した地区カルテの充実</p> <p>○新たなボランティアの養成</p> <p>○健康づくり・介護予防活動の普及啓発</p> <p>○健康づくり・介護予防ボランティアグループへの支援</p> <p>● 自助・互助の意識の醸成を図るための普及啓発・情報発信</p> <p>○地域包括ケアシステムや保健福祉に関する講演会、講座の開催等</p> <p>○地域包括ケアシステムや保健福祉に関する講演会、講座の開催等</p> <p>○地域包括ケアシステムや保健福祉に関する講演会、講座の開催等</p>	<p>○ちいきのちからシートを活用した取組の支援</p> <p>○関係機関・団体に対するヒアリングの実施、結果等を反映した地区カルテの充実</p> <p>○新たなボランティアの養成</p> <p>○健康づくり・介護予防活動の普及啓発</p> <p>○健康づくり・介護予防ボランティアグループへの支援</p> <p>● 自助・互助の意識の醸成を図るための普及啓発・情報発信</p> <p>○地域包括ケアシステムや保健福祉に関する講演会、講座の開催等</p> <p>○地域包括ケアシステムや保健福祉に関する講演会、講座の開催等</p> <p>○地域包括ケアシステムや保健福祉に関する講演会、講座の開催等</p>	
<p>多様な主体との連携事業</p> <p>区民と地域団体、関係機関、行政のそれぞれが地域福祉の目的や課題を共有し連携を図ることによって、区民ひとりではできない、行政だけではできない自助・互助のしくみづくりを進めます。</p>	<p>● あさお福祉まつりの開催による地域福祉の推進</p> <p>○地域福祉への理解と関心を高めるための活動団体、作品展示と福祉活動団体の交流の場づくり</p> <p>・あさお福祉まつり の開催 (R3中 止)</p> <p>● 高齢者見守りネットワーク事業の充実による支え合いの地域づくりの推進</p> <p>○年1回以上の情報交換会開催による協力事業者等との連携強化・支え合いの環境づくり</p> <p>・情報交換会の開 催</p> <p>・協力事業者及び関 係機関の情報交換 会参加促進の取組 実施</p>	<p>○地域福祉への理解と関心を高めるための活動団体、作品展示と福祉活動団体の交流の場づくり</p> <p>○地域福祉への理解と関心を高めるための活動団体、作品展示と福祉活動団体の交流の場づくり</p> <p>○地域福祉への理解と関心を高めるための活動団体、作品展示と福祉活動団体の交流の場づくり</p> <p>○年1回以上の情報交換会開催による協力事業者等との連携強化・支え合いの環境づくり</p> <p>○年1回以上の情報交換会開催による協力事業者等との連携強化・支え合いの環境づくり</p> <p>○年1回以上の情報交換会開催による協力事業者等との連携強化・支え合いの環境づくり</p>	<p>○地域福祉への理解と関心を高めるための活動団体、作品展示と福祉活動団体の交流の場づくり</p> <p>○地域福祉への理解と関心を高めるための活動団体、作品展示と福祉活動団体の交流の場づくり</p> <p>○地域福祉への理解と関心を高めるための活動団体、作品展示と福祉活動団体の交流の場づくり</p> <p>○年1回以上の情報交換会開催による協力事業者等との連携強化・支え合いの環境づくり</p> <p>○年1回以上の情報交換会開催による協力事業者等との連携強化・支え合いの環境づくり</p> <p>○年1回以上の情報交換会開催による協力事業者等との連携強化・支え合いの環境づくり</p>	<p>○地域福祉への理解と関心を高めるための活動団体、作品展示と福祉活動団体の交流の場づくり</p> <p>○地域福祉への理解と関心を高めるための活動団体、作品展示と福祉活動団体の交流の場づくり</p> <p>○地域福祉への理解と関心を高めるための活動団体、作品展示と福祉活動団体の交流の場づくり</p> <p>○年1回以上の情報交換会開催による協力事業者等との連携強化・支え合いの環境づくり</p> <p>○年1回以上の情報交換会開催による協力事業者等との連携強化・支え合いの環境づくり</p> <p>○年1回以上の情報交換会開催による協力事業者等との連携強化・支え合いの環境づくり</p>	

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

安全・安心まちづくりの推進



主な取組の方向性

- 区民の防災意識の向上、自主防災組織の活動の活性化や自立した避難所運営に向けた支援を通じた自助・共助体制の強化
- 交通安全啓発の一層の充実や高齢者・子どもを狙った犯罪への対策の推進

事業名	現状	事業内容・目標			
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
<p>地域防災力の向上事業</p> <p>個人、自主防災組織、避難所運営会議の役割を明確化することで、災害対応力のスパイラルアップを図り、災害時に誰一人取り残さない災害に強いまちをめざします。</p>  <p>避難所宿泊訓練</p>	<p>● 区民の防災意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 個人に向けた適正避難行動及び家庭内備蓄の啓発 ・啓発の実施 <p>● 自主防災組織への活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「防災のつどい」の開催や、自主防災組織による訓練への支援 ・訓練等の活動支援 ・自立した活動へ向けた支援 <p>● 避難所運営会議の運営支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時に自助と共助（互助）による避難所の開設・運営ができるよう、避難所運営会議を支援 ・住民主体で開催する会議の運営支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災啓発動画作成 ・各種コンテンツを使用した啓発の実施 <p>継続実施</p> <p>継続実施</p> <p>継続実施</p> <p>継続実施</p>			
<p>麻生区安全・安心まちづくり事業</p> <p>交通事故や犯罪のない安心して暮らせるまちの実現に向けて、さまざまな啓発等を行うことで、安全意識の高揚を図り、区民一丸となった安全・安心なまちづくりを推進します。</p>  <p>交通安全教室 (スクエアドストレート方式)</p>	<p>● 関係団体等と連携した街頭啓発活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全キャンペーンや二輪車・自転車の安全指導等、継続した街頭啓発活動の実施 ・街頭啓発活動の実施 <p>● 交通安全教育の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学生や幼稚園・保育園児を対象とした交通安全教育の実施 ・交通安全教室等の実施 ○ 中高生を対象としたスクエアドストレート方式の交通安全教育の実施 ・スクエアドストレート方式の交通安全教室の実施 ○ 高齢者を対象とした交通安全教育の実施 ・シルバードライビング教室の実施 <p>● 安全パトロール実施組織への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ パトロール物品の貸与、研修会の開催等による活動支援の実施 ・活動支援の実施 <p>● 関係団体等と連携した防犯啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修・講習会等の実施 ・メール配信による情報提供の実施 	<p>継続実施</p> <p>継続実施</p> <p>継続実施</p> <p>継続実施</p> <p>継続実施</p> <p>継続実施</p> <p>継続実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・検討を踏まえた研修会の開催 		

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

総合的な子ども・子育て支援の推進



主な取組の方向性

- 大学や企業、関係機関や団体等との更なる連携強化により、地域ぐるみで子育て支援ができる環境整備に向けた取組の推進
- さまざまなツールを活用した効果的な情報発信の推進

事業名	事業内容・目標				
	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度
<p>子育て支援・企画事業</p> <p>区民や関係機関、民間企業等と連携し、子育て支援や情報発信、子育てグループの活動支援等、新しい生活様式を踏まえ区の状態に応じた子ども・子育て支援を推進します。</p>  <p>きゅっとハグあさお</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 麻生区子ども関連ネットワーク会議の開催による情報共有と子育て支援に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども・子育て関連団体等との連携会議を通じた情報共有の促進 ・全体会議の開催 継続実施 ○ 地域ぐるみで子ども・子育て支援に取り組むための研修、講座等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・研修等の実施 継続実施 ● 子育て関連機関や民間企業、区内保育所等と連携した子育て支援事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て人材バンク事業による区内子育てサークル等への活動支援の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て人材バンク事業の実施 継続実施 ○ 子育て関係機関や民間企業等と連携した子育て支援事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・支援事業の実施 継続実施 ○ 関係団体等との連携によるあさお子育てフェスタの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・あさお子育てフェスタの開催 (R3 中止) ・検討を踏まえた開催 ・開催方法の見直し・検討 ● 子ども・子育て情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て情報誌「きゅっとハグあさお」と「ちびっこおでかけMAP」の発行 ・HPやSNSを活用した広報の実施 				
<p>子ども関連大学連携事業</p> <p>「麻生区・6大学 公学協働ネットワークに関する協定」に基づき、近隣の大学の専門性を活かした講座や体験学習を通して、子ども・子育て支援に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 麻生区・6大学公学協働ネットワークの連携・協力による子ども・子育て支援の取組 <ul style="list-style-type: none"> ○ 大学との連携・協力による体験学習等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・未就学児親子向け支援事業の実施 継続実施 ○ 小学生向け支援事業の実施 継続実施 				 <p>昭和音楽大学連携事業交流コンサート</p>

地域資源を活用したコミュニティづくりの推進



主な取組の方向性

- 多様な主体の連携による「市民創発」のコミュニティづくりや地域コミュニティの核である町内会・自治会に対する加入促進等の取組の推進
- 地域資源やスポーツを活用した豊かなコミュニティづくりの推進

事業名	事業内容・目標				
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
町内会・自治会加入促進事業 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">町内会・自治会への加入を促進し、地域のつながりづくりや地域コミュニティの活性化を進めます。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ●町内会・自治会加入促進ガイドブック等を活用した町内会・自治会への加入促進 <ul style="list-style-type: none"> ・町内会・自治会加入促進ガイドブック発行 				
麻生区市民活動支援施設利用促進事業 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">「麻生市民交流館やまゆり」を通じて市民活動支援の促進を図ります。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ●市民活動団体交流イベント、市民活動参加を促す人材育成講座等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○市民活動支援のための交流イベント、市民活動への参加促進のためのアクティブシニア講座等の実施 ・イベント、講座等 ●さまざまな媒体を活用した情報発信・提供 <ul style="list-style-type: none"> ○区民の手により制作された広報紙を活用した情報発信の実施 ・情報発信の実施 ○市民交流館やまゆりにおける相談窓口での情報提供等、市民活動につなげる取組の実施 ・窓口相談の実施 ・効果的な情報提供方法の検討 ・検討を踏まえた情報提供の実施 ●「麻生市民交流館やまゆり」による提案型事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○新たなコミュニティづくりに資する提案型事業の実施、報告会の開催 ・提案型事業の実施、報告会の開催 				
あさお希望のシナリオ推進事業 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">さまざまな地域資源を活用しながら、多様な主体と連携し、「麻生区版ソーシャルデザインセンター」の創出や「まちのひろば」の創出等希望のシナリオ実現に向けた取組を推進します。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ●市民創発によるまちづくりに向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ソーシャルデザインセンター創出に向けた検討・立ち上げ支援 ・あさお希望のシナリオプロジェクト検討会開催 ○まちのひろばの創出支援 ・まちのひろばの広報等支援の実施 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  あさお希望のシナリオプロジェクト検討会 </div>				
スポーツのまち麻生推進事業 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">区内のさまざまなスポーツ資源を活用しながら、区民のスポーツ参加を促し、区内各スポーツ関連団体が交流を図ることで、活力ある地域づくり、豊かなコミュニティづくりを促進します。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ●地域のスポーツ資源を活用した活動支援、教室開催、イベント実施 <ul style="list-style-type: none"> ○団体が主催する各種スポーツ大会の開催支援 ・大会開催支援 ・新規大会への支援 ○スポーツ教室等の実施 ・ボールウォーキングイベント等の実施 ○スポーツ健康ロード等の広報 ・広報支援やチラシ作成等の実施 ○あさお青玄まつり、ホームゲーム観戦ツアーなど交流イベント等の実施 ・イベント開催等による地域活性化の取組 ●総合型地域スポーツクラブの活動支援と他団体との連携促進 <ul style="list-style-type: none"> ○広報、イベント共催等を通じた活動支援と他団体との連携による新たな事業実施に向けた支援 ・連携促進に向けた活動支援 ・連携内容の検討、新たな連携の試行 ・検討・試行を踏まえた新たな連携事業の実施 ●パラスポーツの普及・促進に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツ体験教室の開催支援 ・体験教室の開催支援、大会開催に向けた検討 ・体験教室の開催支援、大会の実施 <div style="margin-top: 10px;">  スポーツ・健康ロードを活用したボールウォーキング </div>				

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

政策体系別計画

区計画

進行管理・評価

区における地域の課題解決に向けたその他の取組

取組の柱 区名	事業名	概要	事業内容・目標				
			現状 令和3(2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和5(2023) 年度	令和6(2024) 年度	令和7(2025) 年度
麻生区							
芸術・文化のまちづくりの推進							
	野外上映会開催事業	市民団体等との協働で野外上映会を開催し、「芸術・文化のまち麻生」の取組を区内各地へ広げます。	●地域資源を活かした野外上映会及び関連イベントの開催				
	ふるさとあさお再発見事業	区に伝わる伝統行事「七草粥」を再現し、地域の豊かな自然の恵みと文化の香りに触れる機会を提供します。	●地域文化団体等と連携した伝統行事「七草粥」の実施				
	イメージアップ推進事業	区内の文化芸術やスポーツ資源の魅力アピールし、芸術・文化のまちづくりを推進します。	●kirara@アートしんゆりへの協力 ●芸術・文化やスポーツ活動に関する懸垂幕や柱巻き広告の掲出				
	区制40周年記念事業	令和4(2022)年7月に麻生区が区制40周年を迎えることを契機として、区民の区に対する誇りや愛着を高めることを目的に、区制40周年事業を実施します。	●区民主体の実行委員会における企画検討、記念式典の開催及び記念事業の実施				
農と環境を活かしたまちづくりの推進							
	あさお花いっぱい推進事業	美化活動団体への支援を通じて、区民との協働による地域の環境美化及び地域コミュニティの推進を図ります。	●公共的空間にある花壇等を自主的・継続的に管理している団体への花苗等の提供				
	ヤマユリ植栽普及促進事業	地域の団体と連携しながら消えつつある区の花ヤマユリの植栽活動を促進・支援し、植栽のノウハウの蓄積・普及を推進します。	●ヤマユリ植栽地の観察・管理活動の実施 ●ヤマユリ普及のための育苗講習会や広報活動の実施				
安全・安心まちづくりの推進							
	小学校区危険箇所案内マップ作製事業	区民、地域団体、学校等の連携により、区民の日常生活における交通・防犯上の危険箇所を表示したマップを作製し、配布します。	●「小学校区危険箇所案内マップ」の作製及び配布				
	麻生区ガイドマップ増刷改訂事業	転入者等への初期情報として、地図を中心とした区内の各種情報を提供するため、麻生区ガイドマップを改訂し、配布します。	●麻生区ガイドマップの改訂・発行及び区ホームページの地図データ等の更新				
	麻生落書き消し事業	駅周辺等の一斉落書き消しや、地域の要請による「出前落書き消し」を実施し、区内の美化と安全で安心なまちづくりを推進します。	●区内駅周辺等の「一斉落書き消し」や地域の要請に応じた「出前落書き消し」の実施				
総合的な子ども・子育て支援の推進							
	外国籍等子ども学習支援事業	外国籍及び外国につながる児童生徒の学習を地域で支援します。	●小・中学校の授業における学習支援事業の実施				

取組の柱 区名	事業名	概要	事業内容・目標				
			令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
地域資源を活用したコミュニティづくりの推進							
	町内会事業提案制度事業	町内会・自治会が、地域の課題を発見し、課題解決のための事業提案を行い、選定された事業を区と協働で実施します。	●町内会・自治会と協働した提案型事業の実施				
	麻生区市民提案型協働事業	地域の団体等から地域課題の解決に資する事業提案を受け、選定された事業を提案団体が実施することで、より住みやすいまちづくりを推進します。	●地域の団体等と協働した提案型事業の実施				
	麻生区市民活動支援施設活用事業	「麻生市民交流館やまゆり」の施設の管理運営を支援します。	●「麻生市民交流館やまゆり」の施設運営の支援				
	麻生区地域功労表彰事業	地域で活動している人(団体)を表彰することで、地域活動への関心を高め、地域の活性化を図ります。	●麻生区地域功労表彰及び奨励表彰候補者の募集、選定及び表彰				
	麻生区多文化共生推進事業	多文化共生に対して高い意識を持つ区民が主体となった自主的・自発的な多文化共生活動の支援・推進を図ります。	●地域における多文化共生の啓発及び推進 ●地域の日本人市民と外国人市民の交流推進				
	区民祭開催経費	麻生区の文化の発展と区民の連帯を深め、うるおいのある麻生区のまちづくりを推進します。	●区内各種団体との協働によるあさお区民まつりの開催				
区役所サービス向上事業							
	区役所窓口等サービス充実改善事業	区役所の総合的なサービス向上のための環境整備や研修を実施します。	●サービス向上のための環境整備や研修の実施				
	区政・地域情報提供事業	駅周辺施設情報をわかりやすく伝えるための盤面の更新や、区役所職員の広報スキル向上等を図ります。	●新百合ヶ丘駅周辺案内サインの盤面更新や広報研修の実施				
地域課題対応その他事業							
	事務費等共通経費	地域課題対応事業の実施に必要な事務費を計上します。	●地域課題対応事業の実施に係る事務費				
区の新たな課題即応事業							
	区の新たな課題即応事業	新たに生じた課題に、適切かつ迅速に対応し、解決に向けた取組を推進します。	●新たに発生する課題に対応する事業の実施				



麻生区における特徴あるまちづくりの取組

麻生区で展開されている市民生活を支える事業のうち、区計画に記載されている事業（地域課題対応事業）以外の事業に関連した、区の特徴的な取組を紹介します。

●新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり推進事業

・麻生区では、横浜市や鉄道事業者等と連携し、令和 12（2030）年を開業目標とした横浜市高速鉄道 3 号線の延伸に向けた取組が進められています。新百合ヶ丘駅周辺地区では、こうした周辺環境の変化等を踏まえつつ、商業・業務機能の集積に加え、文化・芸術施設の立地や豊かな自然環境などの地域資源を活かしながら、民間活力による土地利用転換の誘導や交通結節機能の強化に向けた取組など、より質の高い、魅力ある広域拠点の形成に向けた取組を、第 3 期実施計画に位置づけ推進していきます。

【政策体系別計画 P 399：施策 4-5-1 新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり推進事業】

【政策体系別計画 P 413：施策 4-7-1 鉄道計画関連事業】

【麻生区役所における関連した取組】

・新百合ヶ丘駅周辺の更なる魅力向上に向けた取組として、地域の企業、団体、大学等で構成される「新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム」や、芸術・文化分野の「NPO 法人しんゆり・芸術のまちづくり」、「劇団民藝」、「読売日本交響楽団」に加え新たに稽古場をオープンした「日本オペラ振興会」等と連携した事業実施や支援、地域の誇る多彩な主体が実施するイベント等への支援に取り組んでいます。

・区制 40 周年を迎える令和 4（2022）年度には、町内会・自治会や市民団体 65 団体で構成される実行委員会において、新百合ヶ丘駅周辺の公共施設・公共空間を利活用して、区民とともに未来を見据えたまちづくりを考えるきっかけとなるような記念イベント等を行います。これを契機として市制 100 周年、区制 50 周年へ向け更なる魅力向上の取組を推進します。

○ カフェ・グランデ あさお

麻生区の芸術・文化の活動を特に若い世代に向けて発信し、一緒に体験することで、芸術・文化のまちづくりに参加する機会とするとともに、参加団体の交流の場となることを目的として開催。コンサートや演劇などのステージをはじめ、俳句づくりやハンドメイドのワークショップ等盛りだくさんなプログラムで、区の持つ魅力があふれるイベントです。



多くの区民の交流の場！

○ kirara@アートしんゆり

「しんゆり・芸術のまちづくり」の一環として、多くの地域企業・商店及び団体との連携・協力により、新百合ヶ丘駅周辺をイルミネーションで彩り、区民や来訪者に楽しんでもらうとともに、その輝きや関連イベントを通じて地域の魅力向上や活性化につなげています。



新百合ヶ丘の冬の風物詩！

○ しんゆりステーションピアノ

「芸術・文化のまち」の更なる魅力向上や、新百合ヶ丘駅周辺の賑わいの創出を目的として、「小田急電鉄株式会社」、「昭和音楽大学」、「新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム」、「NPO 法人しんゆり・芸術のまちづくり」の 4 者で実行委員会を立ち上げ、コロナ禍では駅コンコースから出て屋外で開催。誰もが弾けるピアノがまちを鮮やかに彩ります。



皆の音楽でまちが元気に！



“それいいね”が広がるまちづくりに向けて

麻生区で展開されている事業のうち、地域課題の解決に向けて、市民や団体等と協働・連携して行っている特徴的な取組を紹介します。

● 次世代へつなぐ 緑あふれるまち

麻生区には公園や緑地・農地がたくさんあり、市内でも1番の緑のまちです。この貴重な資源を大切に育むとともに、地域や大学等の多様な主体が連携し、支え合うことで、未来に広がる、持続可能なまちづくりを進めます。

地域関係者と連携した地域活性化の取組

黒川地区では農業者・地域・大学・行政等が連携した「明治大学・川崎市黒川地域連携協議会」において、区内の農業資源や環境資源を活用し、地域活性化、地域交流に関する取組を行っています。

- 黒川の魅力情報の発信として、ホームページや SNS を活用した里山風景の PR、「#黒川フォト」イベント等を実施しています。
- 農と里山を体感するイベントとして、「明治大学収穫祭」や「グリーンツーリズム」等を実施しています。
- 黒川地区の取組を参考に、岡上地区や他の地区においても、多様な主体と協働した地域イベントの開催や、まちづくりのしくみづくりに向けた検討を行っています。



親子で力を合わせて野菜を収穫！
(グリーンツーリズム)

市民活動団体と連携した次世代継承の取組

麻生区の貴重な資源である里地・里山の魅力や活動団体の取組を発信し、普及啓発を行っています。また、保全・活用の担い手として期待される若い世代に対してさまざまな取組を実施しています。

- **里山フォーラム in 麻生の取組**
里地・里山保全に携わる人材育成として「里地里山ナチュラリスト養成講座」、「あさお里山こどもクラブ」を開催するなど、多世代に向けた取組を行っています。また、麻生区ならではの「からむし」や「万福寺人參」を継承する「里地里山カフェ塾」、わたしのまちのホットする風景写真展今編編、多様な団体が集まり包括的な交流の場としての「フォーラム」などを開催しています。
- **里地里山活動団体の取組**
「フォーラム」に参加する多くの団体により体験学習や観察会、草刈り、植樹等自然環境保全と伝統文化継承のための様々な活動が行われています。その中で間伐材を利用した炭焼きを行っている団体もあります。特に炭焼きは市内に残っているところはめずらしく、技術継承の役割も担っています。



落葉かきを通じて自然のサイクルを学習！
(あさお里山こどもクラブ)



炭焼き三日目の朝
(早野での炭焼き)

★ 市民の想い、メッセージ

- 夏休みに親子で自然とふれあえて満足でした。収穫体験やオリーブオイル講習も大変おもしろく貴重な体験ができて良かった。(2021 黒川地域グリーンツーリズム参加者)
- 里山を実際に見て、歩きながら学べておもしろかったです。地域の課題について、その背景から対策まで学ぶことができて役立ちました。(2021 里地里山ナチュラリスト養成講座受講者)

麻生区マップ



麻生区

凡例	
●	施設整備等
■	道路整備
●	その他

② 準用河川三沢川の改修

⑫ 町田調布【黒川工区】

⑳ 協働による里山管理
(黒川地区)

⑬ 横浜市高速鉄道3号線の
延伸に向けた取組

⑮ 高石住宅5号棟の整備

⑭ 新百合ヶ丘駅周辺
地区のまちづくり



⑥⑦ 世田谷町田線
【片平工区、上麻生Ⅰ期・Ⅱ期工区】

⑤ 尻手黒川線【Ⅳ期工区】

① まごころタウン新百合ヶ丘
(特別養護老人ホーム)

⑲ 南百合ヶ丘小学校の校舎増築

③ かくれんぼ保育園

⑨ 野川柿生線【王禅寺工区】

⑩ 横浜上麻生【柿生陸橋工区】

⑮ 柿生駅周辺地区の整備

⑯ 真福寺住宅新棟1の整備

⑰ 真福寺住宅新棟2の整備

④ 柿生町田線【柿生駅南口工区】

㉑ 協働による里山管理
(岡上地区)

㉒ 協働による里山管理
(早野地区)

⑧ 菅早野線【下麻生工区】

⑪ 横浜上麻生【下麻生工区】

⑱ 早野聖地公園の整備

区のマップとの対応表

福祉施設

名称	開所予定	定員	MAP 番号
まごころタウン新百合ヶ丘 (特別養護老人ホーム)	R4(2022)年度	130人 短期入所 10人	①
川崎授産学園 (建替え)	R5(2023)年度 一部供用開始 R7(2025)年度 全面供用開始	施設入所支援 50人 生活介護 80人 短期入所 20人 就労継続支援B型 20人 日中一時支援 10人	②
かくれんぼ保育園	R4(2022)年度	40人	③

道路・公園

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
栢生町田線(栢生駅南口工区)	道路新設	事業推進	④
尻手黒川線【IV期工区】	道路新設	R7(2025) 年度完成	⑤
世田谷町田線 【片平工区、上麻生I期工区】	道路拡幅	R7(2025) 年度完成	⑥
世田谷町田線【上麻生II期工区】	道路拡幅	事業推進	⑦
菅早野線【下麻生工区】	道路拡幅	事業推進	⑧
野川栢生線(王禅寺工区)	道路拡幅	R7(2025) 年度完成	⑨
横浜上麻生(栢生陸橋工区)	橋りょう整備	事業推進	⑩
横浜上麻生(下麻生工区)	道路拡幅	事業推進	⑪
町田調布(黒川工区)	道路拡幅	事業推進	⑫

その他

名称	事業概要	事業予定	MAP 番号
横浜市高速鉄道3号線の 延伸に向けた取組	横浜市や鉄道事業者等の関係機 関との協議・調整	事業推進	⑬
新百合ヶ丘駅周辺地区の まちづくり	横浜市高速鉄道3号線の延伸や 社会変容等の環境変化を踏まえた 取組の推進	事業推進	⑭
栢生駅周辺地区の整備	栢生駅前南地区の市街地再開発 事業	R10(2028) 年度完了 予定	⑮
真福寺住宅新棟1の整備	市営住宅の建替工事	R6(2024) 年度完成	⑯
真福寺住宅新棟2の整備	市営住宅の建替工事	R8(2026) 年度完成 予定	⑰
高石住宅5号棟の整備	市営住宅の建替工事	R8(2026) 年度完成 予定	⑱
早野聖地公園の整備	次期整備区域における造成、基盤 整備	事業推進	⑲
協働による里山管理 (黒川・岡上・早野地区)	効果的な緑地保全や適切な管理・ 再生による里地・里山づくりの推進	事業推進	⑳ ㉑ ㉒
準用河川三沢川の改修	治水安全度の向上のための河川改 修	事業推進	㉓
南百合ヶ丘小学校の校舎 増築	校舎の増築工事	R5(2023) 年度完成	㉔

麻生区

地域の課題解決に向けた取組の一覧	事業名（○は本計画で「計画期間の主な取組」として掲載している事業）
芸術・文化のまちづくりの推進	
○	しんゆり・芸術のまち推進事業
○	麻生音楽祭開催事業
○	あさお芸術のまちコンサート事業
○	あさお観光資源の魅力紹介事業
	野外上映会開催事業
	ふるさとあさお再発見事業
	イメージアップ推進事業
	区制40周年記念事業
農と環境を活かしたまちづくりの推進	
○	農と環境を活かした連携事業
○	麻生区SDGs推進事業
○	麻生里地・里山保全推進事業
	あさお花いっぱい推進事業
	ヤマユリ植栽普及促進事業
高齢化への対応とすこやか・支え合いのまちづくりの推進	
○	地域包括ケアシステム推進事業
○	多様な主体との連携事業
安全・安心まちづくりの推進	
○	地域防災力の向上事業
○	麻生区安全・安心まちづくり事業
	小学校区危険箇所案内マップ作製事業
	麻生区ガイドマップ増刷改訂事業
	麻生落書き消し事業
総合的な子ども・子育て支援の推進	
○	子育て支援・企画事業
○	こども関連大学連携事業
	外国籍等子ども学習支援事業
地域資源を活用したコミュニティづくりの推進	
○	町内会・自治会加入促進事業
○	麻生区市民活動支援施設利用促進事業
○	あさお希望のシナリオ推進事業
○	スポーツのまち麻生推進事業
	町内会事業提案制度事業
	麻生区市民提案型協働事業
	麻生区市民活動支援施設活用事業
	麻生区地域功労表彰事業
	麻生区多文化共生推進事業
	区民祭開催経費
区役所サービス向上事業	
	区役所窓口等サービス充実改善事業
	区政・地域情報提供事業
地域課題対応その他事業	
	事務費等共通経費
区の新たな課題即応事業	
	区の新たな課題即応事業